

令和 6年度（ 5年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち		評価担当	局名	政策局
	政策	国際・国内交流の推進と定住の促進			課(室)名	広聴広報・シティプロモーション課
	施策	移住・交流の促進			電話番号	087-839-2161
	基本事業	選ばれる地域づくりの推進			事業実施主体	市
	事務事業	シティプロモーション推進事業			事業期間	令和 5年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市の認知度向上とシビックプライドの醸成を図るため、本市の魅力を紹介する映像コンテンツの活用、東京圏を始めとした大都市圏でのプロモーション活動、官民連携による情報発信などを行う。				
6年度概要	①シティプロモーション推進ビジョン（仮）の策定 ②映像コンテンツの作成 ③シティプロモーションプロデューサーの委嘱 ④大都市圏でのプロモーション・情報収集活動 ⑤地場産品等をPRするイベントの企画・実施 ⑥人的ネットワークの運営 ⑦照明演出によるシティプロモーション				
重点取組事業	市長マニフェスト		事務事業の種類	②ソフト事業（法律による実施義務無）	

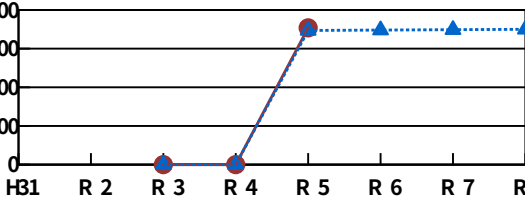
【事業の目的】

対象（何を）	市民、本市を認知していない人や事業者
意図（どのような状態にしたいか）	市外、特に東京圏での本市の認知度向上と、市民の本市に対する誇りと愛着（シビックプライド）の醸成を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
① 大都市圏でのプロモーション・情報収集活動回数	回	0	0	147	250	125
②						

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
成果指標① 市公式ホームページ及び市公式観光サイトへのアクセス合計数	千件	目標値	0	0	34,700	34,800	34,700
		実績値	0	0	35,372		
							(達成度) 101.9%
成果指標② 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		目標値					
		実績値					
							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	円	0	0	11,517	77,285
（事業費）	円	0	0	3,990	40,403
（職員人件費）	円	0	0	7,527	36,882

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	拡充
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
大都市圏での営業活動・情報収集活動を行い、シティプロモーションの推進を図ることができたが、推進ビジョンの策定や映像コンテンツの作成を行い、より効果的な実施が必要である。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
今後も引き続き、地域資源と映像コンテンツやSNS等の各種媒体を活用し、市民や企業と連携を図りながら、市内外への情報発信に取り組んでいく。			

令和 6年度（5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	政策局
	政策	国際・国内交流の推進と定住の促進		課(室)名	地域活力推進室
	施策	移住・交流の促進		電話番号	087-839-2143
	基本事業	選ばれる地域づくりの推進	事業実施主体		市
	事務事業	移住・定住促進事業	事業期間		平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市への移住・定住人口の増加を図るため、市民や企業・団体等からなる「たかまつ移住応援隊」との連携による情報発信や相談対応などを始め、本市の特性や強みである「生活のしやすさ」、「仕事のしやすさ」、「子育てのしやすさ」を生かした各種の移住・定住促進の取組を推進する。				
6年度概要	①関係人口・創出拡大事業 ②移住促進事業 ③定住促進事業				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	1-⑪	事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）

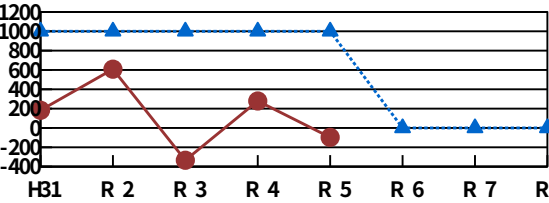
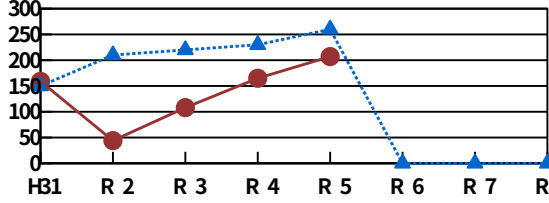
【事業の目的】

対象（何を）	市外に居住しており、地方への移住を考えている人
意図（どのような状態にしたいか）	地方への移住を考えている人に対し、本市の魅力を実効果的に発信することなどにより、本市への移住を促進し、人口減少の抑制を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
① 移住・交流イベント実施回数	回	10	14	11	0	9
② 移住ナビ新規情報発信回数	回	33	17	21	0	40

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
年間社会増（1月～12月）	人	目標値	1,000	1,000	1,000	0	1,000
		実績値	-334	279	-97		
成果指標① 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 東京圏の一極集中の拡大傾向など、大都市圏への人口流出により、令和5年の社会動態は再び社会減に転じることとなった。 	 (達成度) 0.0% 0点						
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
本市主催の移住・定住促進のためのイベント等への参加者数	人	目標値	220	230	260	0	260
		実績値	108	165	207		
成果指標② 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により、制限なくイベントを開催することができ、前年度を上回る参加があったが、目標には達しなかった。 	 (達成度) 79.0% 27点						

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	千円]	42,156	51,037	49,266	53,167
（事業費）	千円]	24,791	33,824	34,965	38,866
（職員人件費）	千円]	17,365	17,213	14,301	14,301

【評価】

評価ランク（A～D）	D	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） たかまつライフ促進プランに基づいた新規事業の創設や、瀬戸・たかまつ移住＆キャリアサポートセンターの廃止など、社会情勢の変化等に対応したスクラップ＆ビルドを行った。 しかしながら、東京圏一極集中の拡大傾向に伴う人口減少などに対応した、更なる取組の強化が必要である。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 第7次総合計画に基づき、「移住・定住促進事業」を全面的に見直して、「関係人口創出・拡大事業」、「移住促進事業」、「定住促進事業」の3事業とし、シティプロモーションの取組や東京事務所の活動等とも連携しながら、各種取組を展開していく。 また、大きな課題となっている若者層のU・I・Eターン促進については、新たな取組を早期に検討する。			

令和 6年度（ 5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	政策局
	政策		国際・国内交流の推進と定住の促進		課(室)名	政策課
	施策		移住・交流の促進		電話番号	087-389-2135
	基本事業		選ばれる地域づくりの推進		事業実施主体	市
	事務事業		政策コンテスト開催事業		事業期間	平成 29年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市の将来を支える若者のアイデアを本市の政策に取り入れるとともに、若者の地元への愛着を深めるため、出場者の理想とするまちづくりを事業化まで含めた政策として考える政策コンテストを開催する。				
6年度概要	①政策コンテスト開催 ②政策アイデアの事業化の検討				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	3-⑬	事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）

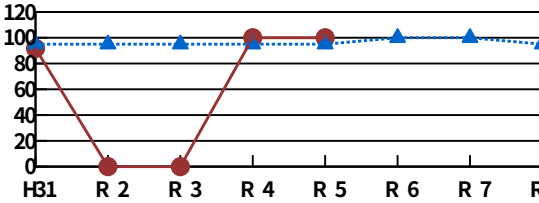
【事業の目的】

対象（何を）	チーム代表は瀬戸・高松広域連携中枢都市圏に在住、又は勤務・通学している者、チームメンバーは中学生から39歳以下の者。
意図（どのような状態にしたいか）	本市が将来も若者から選ばれるまちであるために、将来を支える若者のアイデアを、本市の政策に取り入れるとともに、若者の地元への愛着を深めることを目的とする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
① 政策コンテスト参加チーム数	チーム	0	9	7	10	10
②						

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	アンケート結果による愛着が高まったとする割合	%	目標値	95	95	95	100	95
			実績値	0	100	100		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 愛着が高まったとする割合が100%であり、目標を達成できた。 (目標達成度)								(達成度) 105.3% 35点
成果指標②	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)								(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	3,775	11,084	10,374	11,127
（事業費）	〔円〕	0	3,600	3,600	3,600
（職員人件費）	〔円〕	3,775	7,484	6,774	7,527

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
令和4年度政策コンテストで提案された政策アイデアについて、令和5年度に事業化して実施することができた。 令和5年度に提案された政策アイデアについて、令和6年度中に事業化に向けた検討を行う。 引き続き、シビックプライドの醸成を図りながら、政策提案を市政に取り入れるため、若者の夢のある政策立案と政策アイデアの事業化の両立に取り組む必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
シビックプライドの醸成につながる政策アイデアの立案と政策アイデアの事業化の両立に向けて、政策コンテストのプログラムの改善を図る。 また、民間を含め、類似のコンテストが増加していることから、差別化についても検討する。			

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち		評価担当	局名	政策局
	政策	国際・国内交流の推進と定住の促進			課(室)名	地域活力推進室
	施策	移住・交流の促進			電話番号	087-839-2143
	基本事業	選ばれる地域づくりの推進		事業実施主体	市	
	事務事業	生涯活躍のまちづくり推進事業		事業期間	平成30年度～令和5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	中高年齢者の希望に応じた暮らしの実現や地域住民の多世代交流を促進するため、移住者を含めた地域住民が主体となり本市の特性や強みを生かした地域づくりを目指す、「生涯活躍のまち」の理念を反映したまちづくりを推進する。				
6年度概要	高松版生涯活躍のまち構想の周知・啓発				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の種類	②ソフト事業（法律による実施義務無）

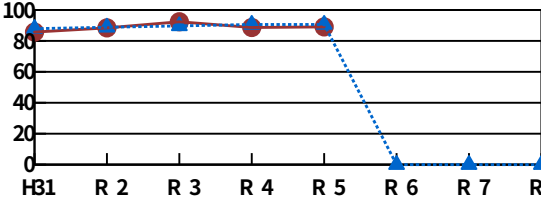
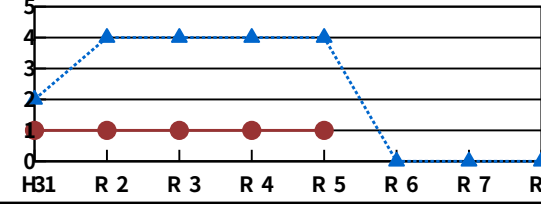
【事業の目的】

対象（何を）	50・60歳代の移住者を含むアクティブシニア及び地域コミュニティ協議会				
意図（どのような状態にしたいか）	平成30年度に策定した「高松版生涯活躍のまち構想」に基づき、地域コミュニティ協議会を軸として、移住者を含むアクティブシニアが、地域に溶け込み、多世代の地域住民との交流を行いながら、自らの経験やスキルをいかして生涯健康で生きがいを持って活躍することができる地域づくりを目指す。				

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
① ワークショップ開催回数	回	0	0	0	0	0
② 生涯活躍のまちづくりに取り組むコミュニティ協議会数	地区	5	5	5	0	8

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
成果指標① 50代及び60代の市民における「住みやすさ」に対する市民満足度	%	目標値	89.7	90.6	90.6	0	90.6
		実績値	92.37	88.66	89.05		
							(達成度) 98.3%
							34点
成果指標② コミュニティプランに生涯活躍のまちの考え方を盛り込んだコミ協の数	地区	目標値	4	4	4	0	4
		実績値	1	1	1		
							(達成度) 25.0%
							8点

【コストの推移】

指標名	単位	令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
トータルコスト	千円	3,020	2,994	1,497	0
（事業費）	千円	0	0	0	0
（職員人件費）	千円	3,020	2,994	1,497	0

【評価】

評価ランク（A～D）	C	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
コミュニティプランに「高松版生涯活躍のまち構想」の考え方を取り入れる地域が増えるような啓発方法が課題である。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
「高松版生涯活躍のまち構想」を策定し、コミュニティプランに生涯活躍のまち構想の考え方を盛り込んでもらうよう周知活動等を行ってきたが、社会情勢の変化等により、構想と地域共生社会の考え方が重複してきたことから、地域共生社会の取組との統合も視野に、今後の方向性について、整理・検討する。			